

臨床研究に関する公開情報

2021年11月3日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名：「パーキンソン病における幻視出現の予測に関する研究」

対 象：2015年7月から2021年10月に当院にて入院されたパーキンソン病の方

研究期間：承認の日から2023年3月までを予定しています。

研究目的：パーキンソン病の幻視症状は、経過中約80%に出現する症状で、生活の質の低下や施設入居と関連していることが知られています。今までに幻視出現の時期を予測するような臨床的な特徴ははっきりとわかっていません。前もって幻視の出現時期が予測できれば、薬剤の選択などの治療方針の決定にも非常に役立つと考えられます。そこで、我々はパーキンソン病における幻視出現を予測する臨床的な特徴を明らかにすることを目的に、本研究を構想しました。

方 法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、発症年齢、初発症状、運動症状の進行時期、幻視の出現時期、画像所見(MRIや核医学検査)、治療内容等があります。研究結果は学会および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先：兵庫県立尼崎総合医療センター 脳神経内科
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町2-17-77
TEL：06-6480-7000 FAX：06-6480-7001
MAIL：sayakaakazawa0529@gmail.com
研究責任者 赤澤 明香